

公の施設の現状(平成22年度)

93 名古屋市港防災センター

[消 防 局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円)（平成22年度決算額）								
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入					
	防災に関する知識の普及・啓発及び市民の防災意識の高揚を図るとともに、大規模災害発生時における災害応急活動の拠点施設とするため設置された施設です。 具体的には、『地震体験室』、『伊勢湾台風を知る』、『煙避難体験室』等の体験・展示施設等を活用して防災知識の普及・啓発を推進するとともに、防災備蓄食糧等を管理し、大規模災害発生時における災害応急活動の拠点施設としての機能を果たしています。						指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金	
							43,538	0	43,538	0	0	43,538	43,538	—	
							特記事項								
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項								
	指標		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度									平成22年度
	来館者数		人	56,256	54,361	51,774									49,979
	出張講座の開催回数		回	11	11	9									9
	講習室等の使用状況		回	26	38	29									23
歳出の削減		千円	53,666	50,913	50,344	43,538									
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み			取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況						
					めざす状態		指標								
	利用の促進	市内の小・中学校に防災の学び場としてセンターを活用いただけるよう、カリキュラムやプログラムを作成し広報します。 また、地域へ出張講座を増やすとともに、イベントにも積極的に参加し、今後も港防災センターの利用促進及び防災意識の普及啓発を図っていきます。			目標年度まで来館者数56,000人の確保を目指します。		来館者数		56,000人	56,256人			49,979人		

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載